

■（１４７）ケネディ大使就任で振り返る衛星中継の出発点

「テレビ画像は太平洋をわたってきた電波とは思われぬほど鮮明だった。しかし…」。

ちょうど５０年前の１１月２３日の朝日新聞夕刊は報じた。日米間の衛星中継が初めて成功した日だった。その映像でケネディ米大統領の日本向けメッセージが流れるはずだった。

大統領は、その歴史的な中継のわずか１時間前に暗殺されていた。日本で商用インターネットが始まったのは１９９２年で、デジタルネイティブ世代の今の小学生には信じられないかもしれない。遠い国の現在進行形の出来事をテレビで見られることが大ニュースだった。技術者たちは、翌年の東京五輪を世界にテレビ中継しようと奮闘していた。それから半世紀。凶弾で父を失った娘が、大使として日本に赴任してきた。馬車で皇居に「あいさつ」に向かう新大使を一目見ようと沿道に多くの人が集まった。見物人が携帯電話で撮影した写真や映像は瞬時にネットにアップされ、世界中の人たちに中継された。

自身が生まれたのは暗殺の５日後で、当時の騒ぎはテレビ記者だった父から聞かされていた。地球を駆け巡る「今」はどこまで増えるか。５０歳にはもはや想像もできない。(山)